

平成19年度



大田原市の家計簿

大田原市

平成19年度の大田原市の予算は、市の将来像である「住む人が輝き、来る人がやすらぐ、幸せ度の高いまち」の実現に向け、合併によるメリットを最大限活用することにより、限られた財源を重点的、効率的に配分し、編成いたしました。

「大田原市の家計簿」は、この平成19年度の予算をもとに、皆さんに納めていただく税金や国・県からの支出金が、どのように使われるのか、どのような仕事にどのくらいお金が必要なのか、また、市の借入金（市債）や預金（基金）はどのくらいあるのかを中心に、大田原市の財政状況をお知らせするものです。

【目 次】

1	平成19年度の市の予算	1
2	平成19年度の一般会計予算	2
3	市民1人当たりの予算	4
4	平成19年度予算にみる1人当たりの経費	5
5	平成19年度の主な事業の予算	6
6	基金の状況	7
7	市債の状況	8
8	市債の残高	9
9	公債費の状況	10

1 平成19年度の市の予算

(1) 一般会計 279億8,000万円

※ 皆さんからの税金を主な収入として市の大部分の仕事をまかっています。

(2) 特別会計 198億7,350万円

国民健康保険事業費 77億3,900万円

下水道事業 22億4,800万円

老人保健 54億2,500万円

農業集落排水事業 1億7,950万円

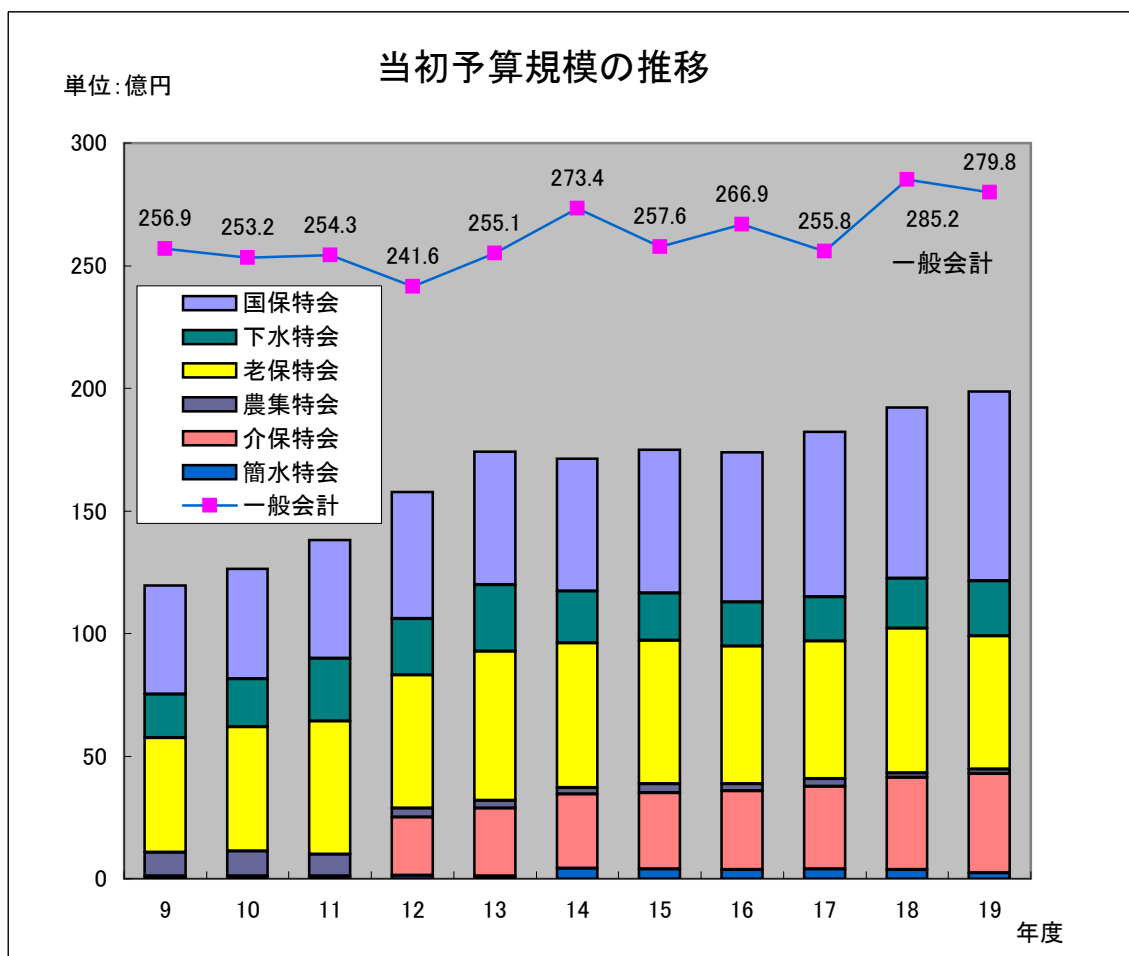
介護保険 40億4,900万円

簡易水道事業 2億3,300万円

※ 特定の収入で特定の事業をまかっています。

(3) 水道事業会計 23億5,830万円

※ 企業会計で経理されている会計です。



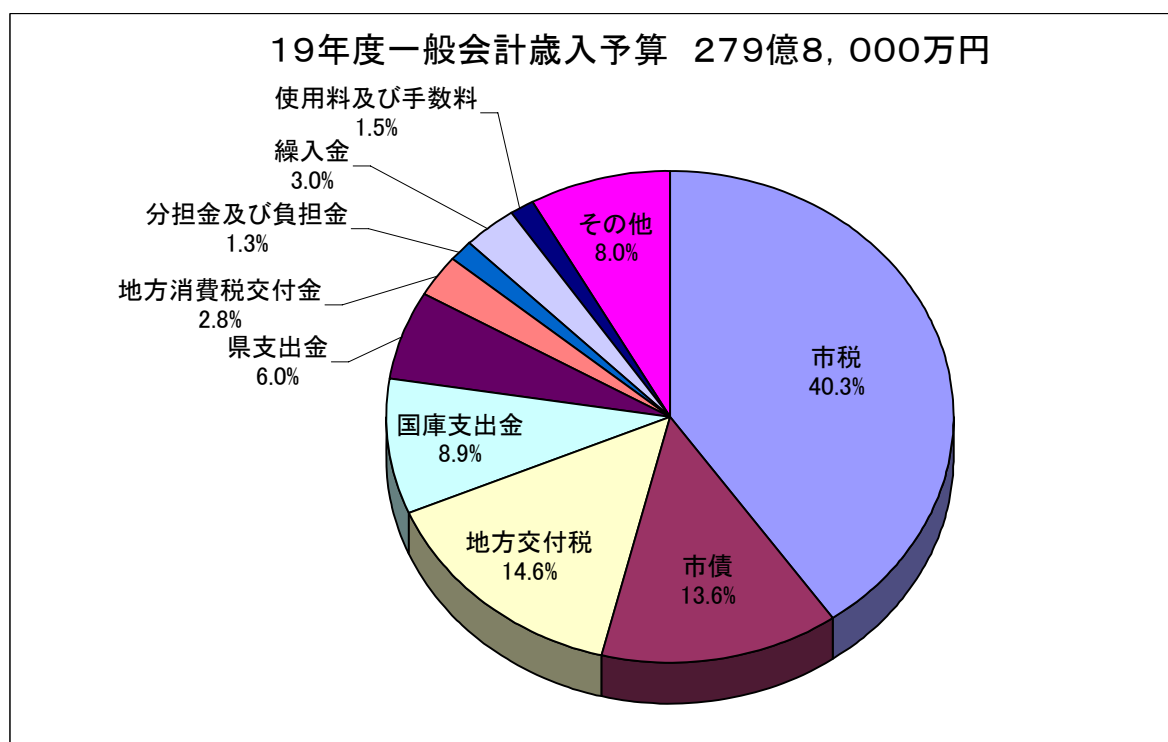
※ グラフ中平成9年度から17年度までは、3市町村の当初予算を合算しています。
 ※ 須賀川財産区予算は含まれておりません。

2 平成19年度の一般会計予算

一般会計には、市民の皆さんの日常生活に深くかかわっている福祉、衛生、道路、教育などの仕事を行うための経費が計上されています。
平成19年度の予算は、279億8,000万円で、その内訳は以下のとおりです。

【歳入】

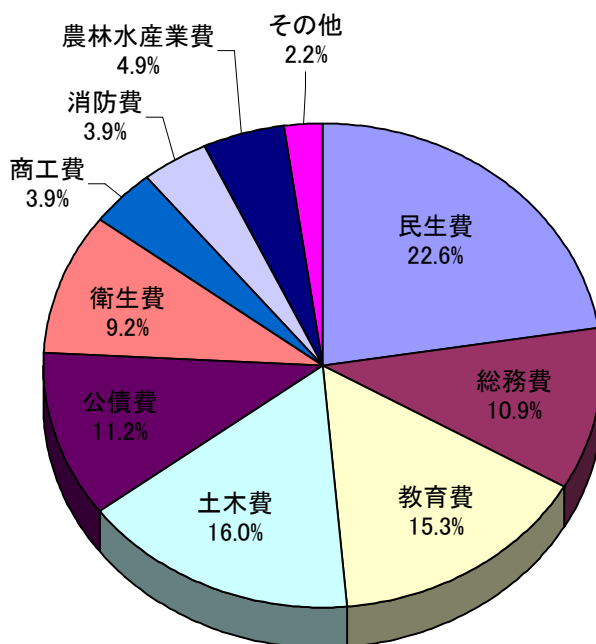
市 税	112億6,694万円	皆さんに納めていただく市民税(個人及び法人分)や固定資産税、都市計画税などの税金です。
市 債	38億1,640万円	多額の資金を必要とする事業に対して、国や銀行等から借り入れるお金です。
(うち合併特例債)	(21億7,370万円)	合併市町村に配分される有利な借入金です。
地方交付税	40億7,600万円	全国の市町村がひとしく事務ができるように、国税(所得税、法人税、酒税、消費税、国のたばこ税)の一定割合が、市町村の財政状況に応じ交付されます。
国庫支出金	24億9,504万円	道路の整備や学校の建設、社会福祉などの特定の事業に対して、国から支出されるお金です。
県支出金	16億8,808万円	特定の事業に対し県から支出されるお金です。
地方消費税交付金	7億7,000万円	地方消費税1%の1/2が市町村に交付されます。
分担金及び負担金	3億5,611万円	他市町村からの負担金や、保育園児の保護者に負担していただくお金です。
繰入金	8億5,000万円	基金(預金)から一般会計に繰り入れるお金です。
使用料及び手数料	4億1,657万円	市営住宅などの使用料や住民票の交付手数料などです。
その他	22億4,486万円	繰越金や財産収入、寄附金などのお金です。



【歳出】

民生費	63億1,493万円	高齢者や幼児、体の弱い人などを援護する福祉向上のための経費です。
総務費	30億4,484万円	市役所の全般的な仕事や税金の賦課徴収、戸籍事務、選挙事務などの経費です。
教育費	42億7,820万円	小・中学校の教育を充実したり、文化・芸術、スポーツを盛んにするための経費です。
土木費	44億7,478万円	道路や橋、河川、公園を整備したり、区画整理を行うための経費です。
公債費	31億2,971万円	学校や道路、市営住宅などを建設するために借りたお金を返済するための経費です。
衛生費	25億7,985万円	皆さんの健康を守ったり、ごみやし尿を処理するための経費です。
商工費	10億9,190万円	商業や工業、観光などを盛んにするための経費です。
消防費	10億9,377万円	皆さんの生命や身体、財産を火災などの災害から守るための経費です。
農林水産業費	13億6,557万円	農業や畜産業、林業などを盛んにするための経費です。
その他	6億 645万円	議会費や労働費、災害復旧費などの経費です。

19年度一般会計歳出予算 279億8,000万円



3 市民1人当たりの予算

一般会計の予算の総額279億8,000万円を平成19年4月1日現在における住民基本台帳人口74,928人で除して、市民1人当たりの予算に換算すると37万3,425円になります。その使いみちの内訳は以下のとおりです。

【歳入】

市税 112億6,694万円 (1人当たり 15万 370円)
 市税以外のお金 167億1,306万円 (1人当たり 22万3,055円)

【歳出】

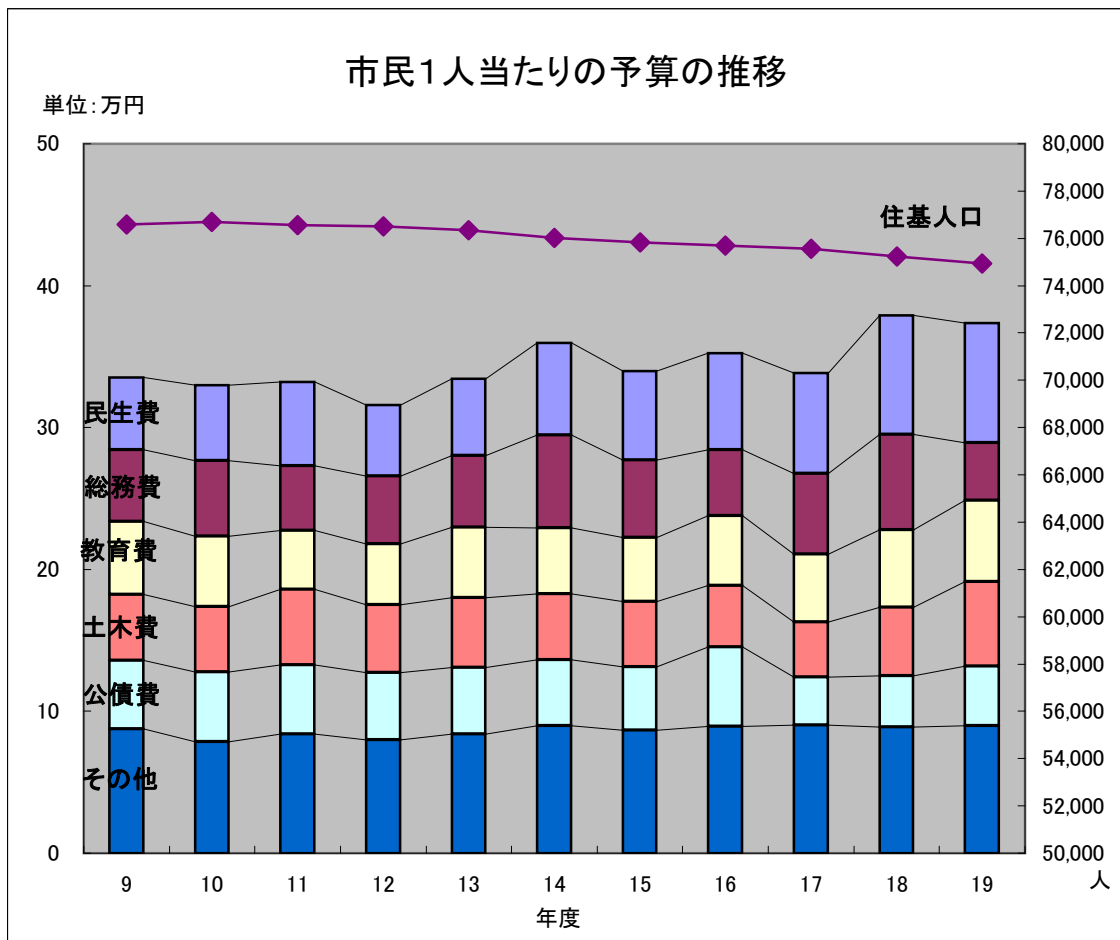
民生費 8万4,280円
 総務費 4万 637円
 教育費 5万7,097円
 土木費 5万9,721円
 公債費 4万1,770円
 衛生費 3万4,431円
 商工費 1万4,573円
 消防費 1万4,598円
 農林水産業費 1万8,225円
 その他 8,093円

1人当たりに使われるお金

37万3,425円

(参考)

1人当たりの個人住民税 4万3,943円
 1世帯当たりの市税 44万7,634円
 1世帯に使われるお金 111万1,641円



4 平成19年度予算にみる1人当たりの経費

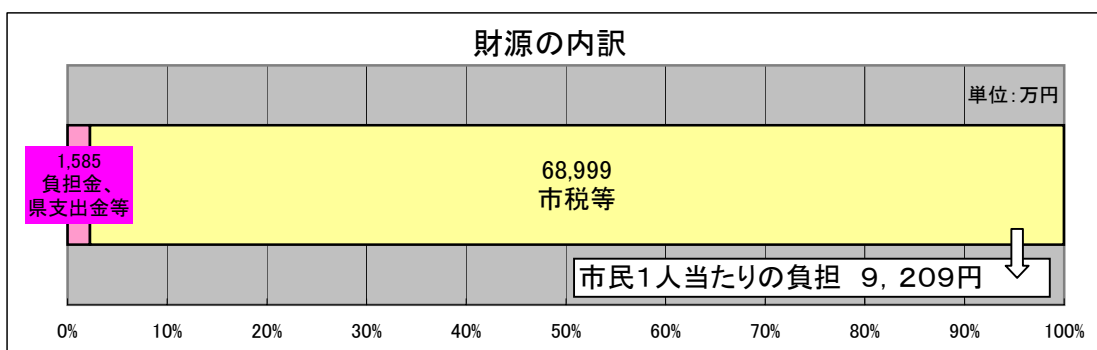
一般会計の予算のうちで、高齢者、保育園児及びごみ処理に要する1人当たりの経費については、以下のとおりです。

(1) 高齢者1人当たりの経費

4万4,886円

老人福祉費 7億 584万円

65歳以上の人口 15,725人
(平成19年4月1日現在)



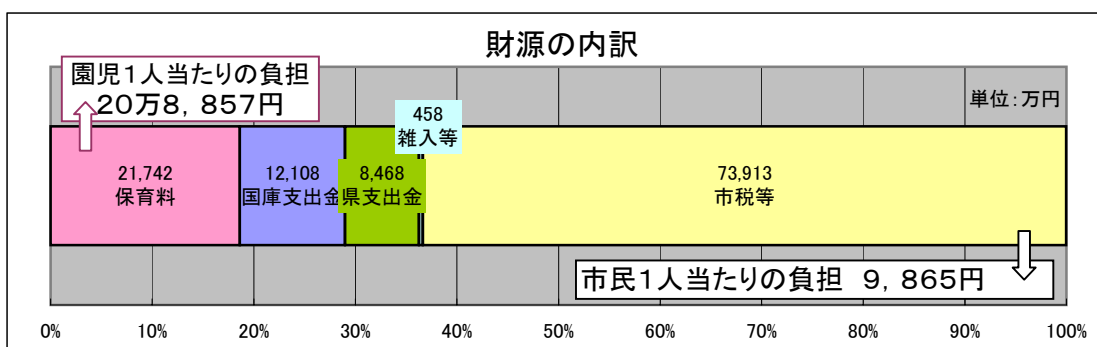
※ 介護保険に係る経費は含まれていません。

(2) 保育園児1人当たりの経費

113万6,212円

保育所費 11億6,689万円
(私立保育所運営費を含む)

園児数 1,041人
(平成19年4月1日現在)



※ 平成19年度しんとみ・すみよし保育園統合整備事業費約4億2千万円を除いています。

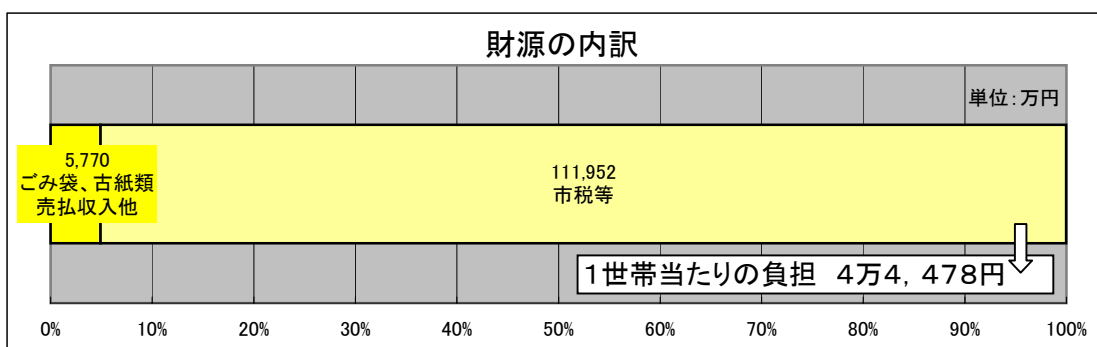
※ 須賀川児童館に係る経費は除いています。

(3) ごみ処理に要する1世帯当たりの経費

4万6,771円

ごみ処理費 11億7,722万円

世帯数 25,170世帯
(平成19年4月1日現在)

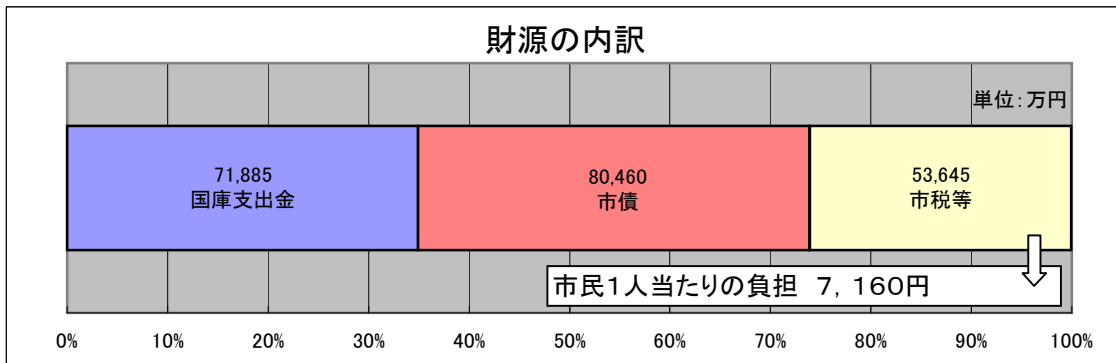


※ 平成19年度リサイクル推進施設整備事業費約4億円を除いています。

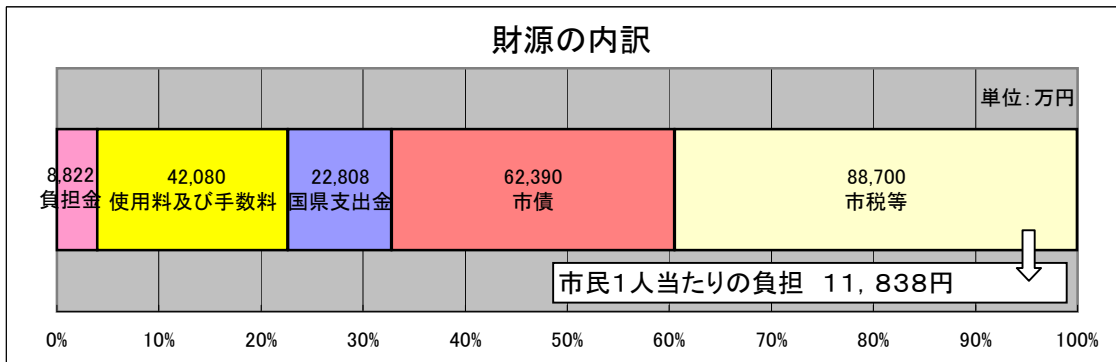
5 平成19年度の主な事業の予算

大田原市の予算のうちで、道路、下水道及び簡易水道の各事業について、市税等の収入を市民1人当たりいくら見込んでいるかについては、以下のとおりです。

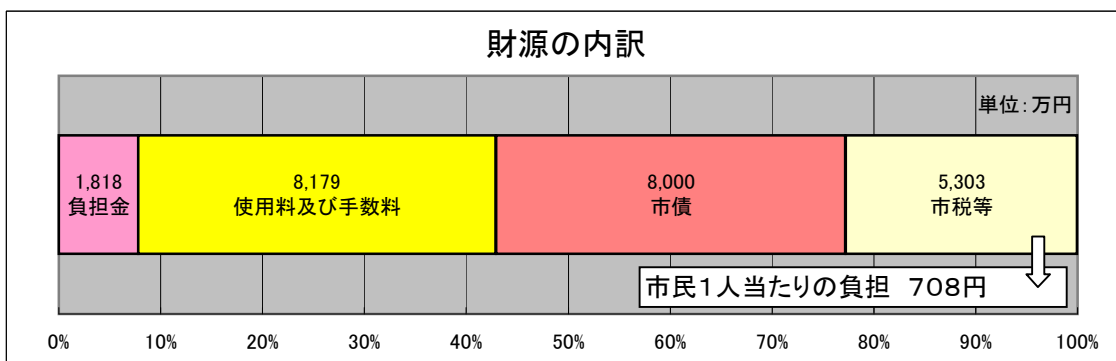
(1)道路	道路関係予算額	20億5,990万円
	(内訳)	
	道路維持	2億6,733万円
	新設改良	14億9,658万円
	街路	2億9,599万円



(2)下水道	下水道事業特別会計予算額	22億4,800万円
--------	--------------	------------



(3)簡易水道	簡易水道事業特別会計予算額	2億3,300万円
---------	---------------	-----------



6 基金の状況

基金とは、ある目的のために銀行などに預金しておいたり、土地として持つことにより、必要なときに預金をおろしたり土地を処分（売り払い）したりすることによって、皆さんのために活用するものです。

大田原市には、平成19年3月31日現在で17の基金があり、その内容は以下のとおりです。

財政調整基金	20億1,845万円	年度間のお金の調整を行い、健全な財政運営を行なうための預金
減債基金	2億 840万円	市で借りたお金の返済を計画的に行うための預金
土地開発基金	現金 3億8,371万円 貸付金 4億3,682万円 土地 77,133㎡	施設などを建設するための土地をあらかじめ購入することで、その事業を進めやすくするための預金等
奨学基金	8,159万円	高校生や大学生に対して奨学金の貸し付けをするための預金
あすなる基金	1億 202万円	小学生や中学生の表彰と青少年の国内外の交流に関する事業を円滑に行なうための預金
大学誘致基金	1,290万円	大学などの高等教育機関の誘致を進めるための預金
スクラム基金	6億4,760万円	高齢者などの生活を援助するための預金
スポーツ文化振興基金	6,457万円	皆さんのスポーツや芸術・文化を振興するための預金
子育て支援基金	873万円	明日を担う子どもを、安心して生み、健やかに育てるための預金
中山間地域農村環境保全基金	1,021万円	中山間地域の農村環境を形成する土地改良施設等の保全事業を実施するための預金
金券基金	100万円	金券制度に関する事務を円滑に行うための預金
合併振興基金	22億円	合併後の市民の連帯の強化と地域の振興に必要な経費の財源に充てるための預金
国民健康保険財政調整基金	3億8,277万円	国民健康保険事業を適正に行なうための預金
高額療養費資金貸付基金	368万円	一時期に多くの医療費を必要とする人に対して貸し付けをするための預金
国民健康保険出産費資金貸付基金	174万円	出産一時金の支給を受けるまでの間、出産に要する費用を貸し付けるための預金
介護保険財政調整基金	1億2,400万円	介護保険事業を健全に維持するための預金
高額介護サービス費貸付基金	100万円	多くの介護保険サービス費を必要とする人に対して貸付をするための預金

※出納整理期間中(H19.4/1～5/31)に積み立てる予定のものを含んでいます。

7 市債の状況

市は、皆さんが納める税金を主な収入として、いろいろな仕事をしています。

その中で、学校や道路などは、皆さんの子供の代まで利用できるものであり、その建設や工事にかかるお金も、それらを利用する住民の方にも負担していただくという考えで、一部に長期の借り入れをしています。

この借入金を市債といい、平成19年度は一般会計で38億1,640万円で、うち21億7,370万円が合併特例事業債という合併市町村に有利なものを予定しています。

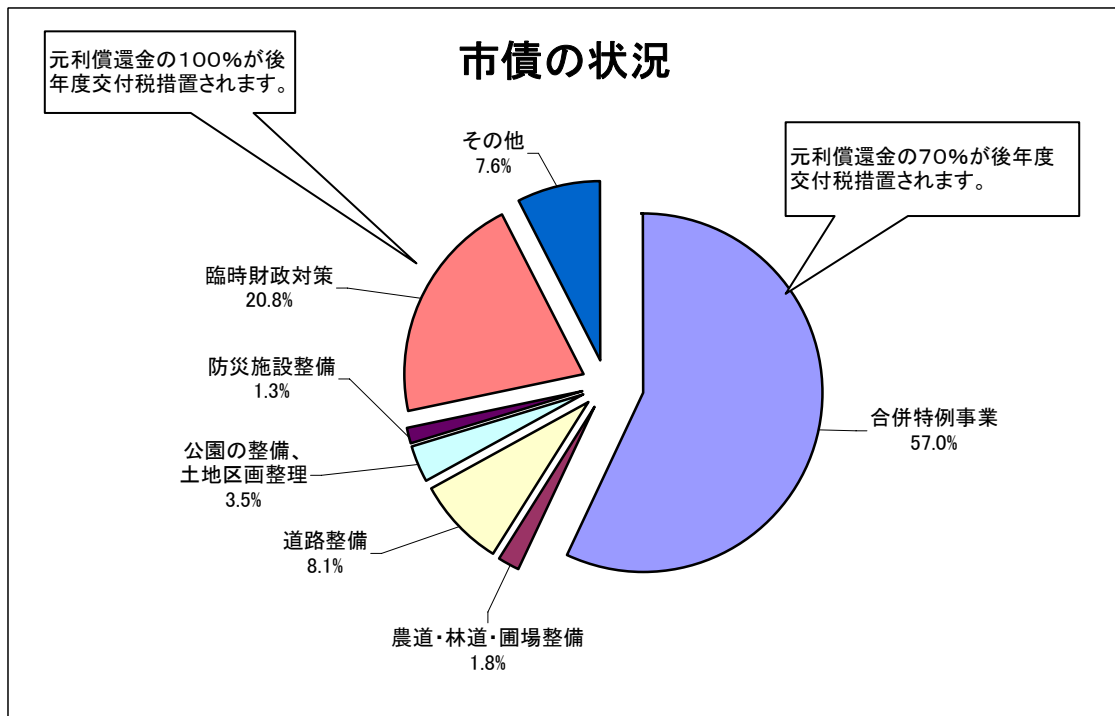
平成19年度の借入金を市民1人当たりに換算すると5万934円です。

・ 合併特例事業のために 21億7,370万円

しんとみ・すみよし保育園統合整備事業	市道片府田大田原線外15路線の道路改良事業
野崎駅周辺地区整備事業	西原小学校増改築事業
黒羽統合中学校建設事業	金田南中学校給食室新築事業
黒羽・川西コミュニティセンター新築事業	両郷コミュニティセンター新築事業
美原公園陸上競技場整備事業	

・ 農道・林道・圃場整備のために	6,870万円
・ 道路整備のために（合併特例事業を除く）	3億1,080万円
・ 公園の整備・土地区画整理のために	1億3,310万円
・ 防災施設の整備のために	4,920万円
・ 臨時財政対策のために(注)	7億9,200万円
・ その他（清掃センター解体、移動通信用鉄塔整備等）	2億8,890万円

計 38億1,640万円

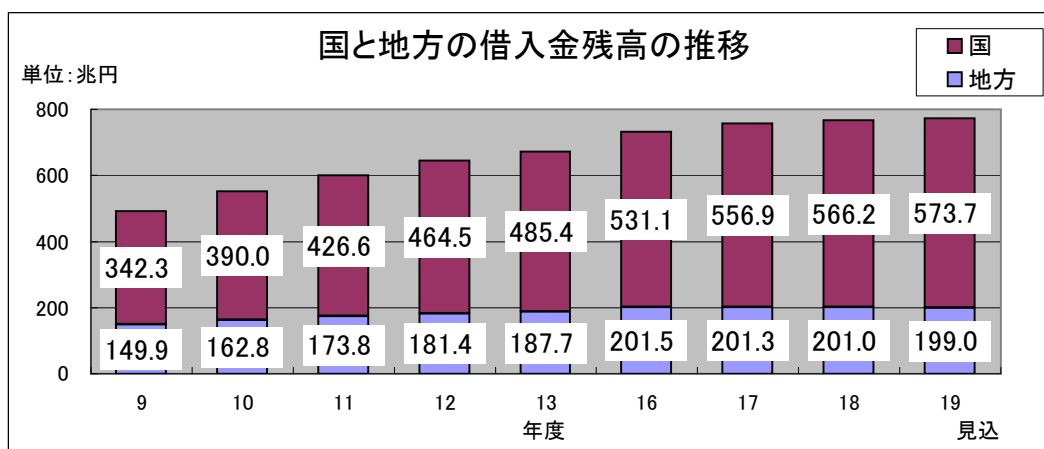
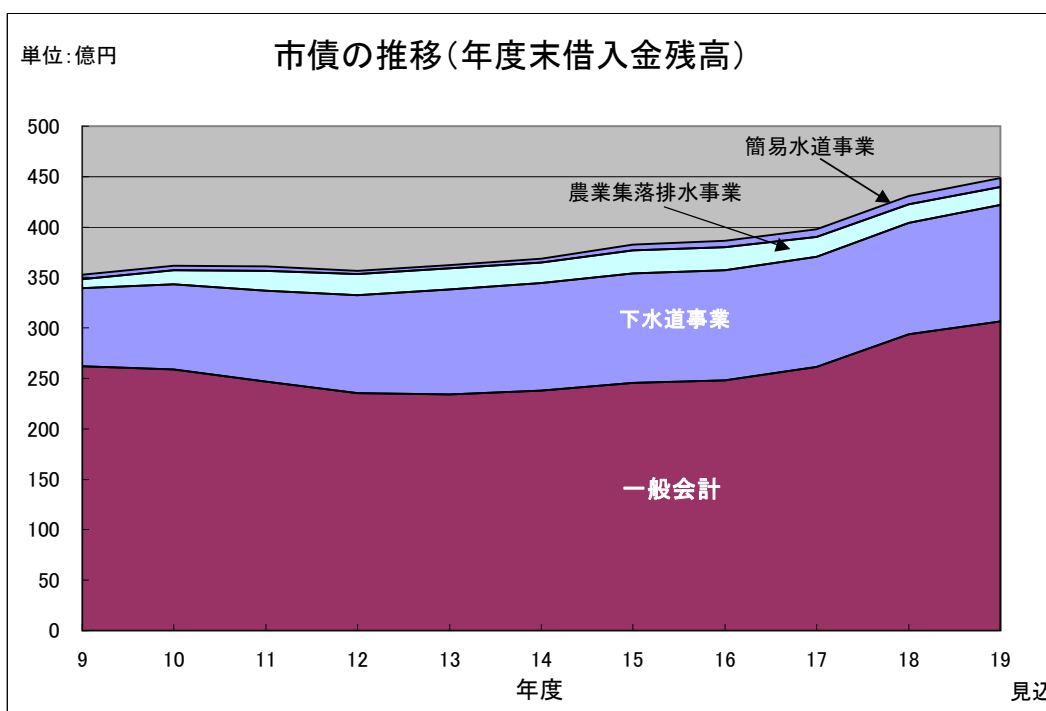
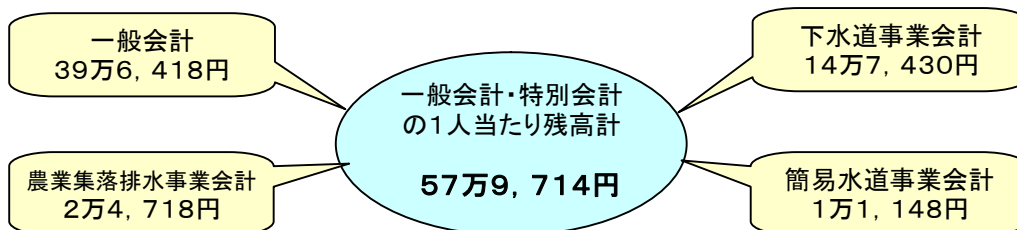


(注) 国税収入の減少による普通交付税の振替額を、それぞれの自治体が借り入れ補てんする制度。後年度普通交付税で措置されます。

8 市債の残高

平成18年度末の一般会計における地方債の現在高は、297億283万円となる見込みであり、市民1人当たりには換算した額は39万6,418円です。

一般会計、特別会計の1人当たりの地方債残高見込(水道事業会計を除く)



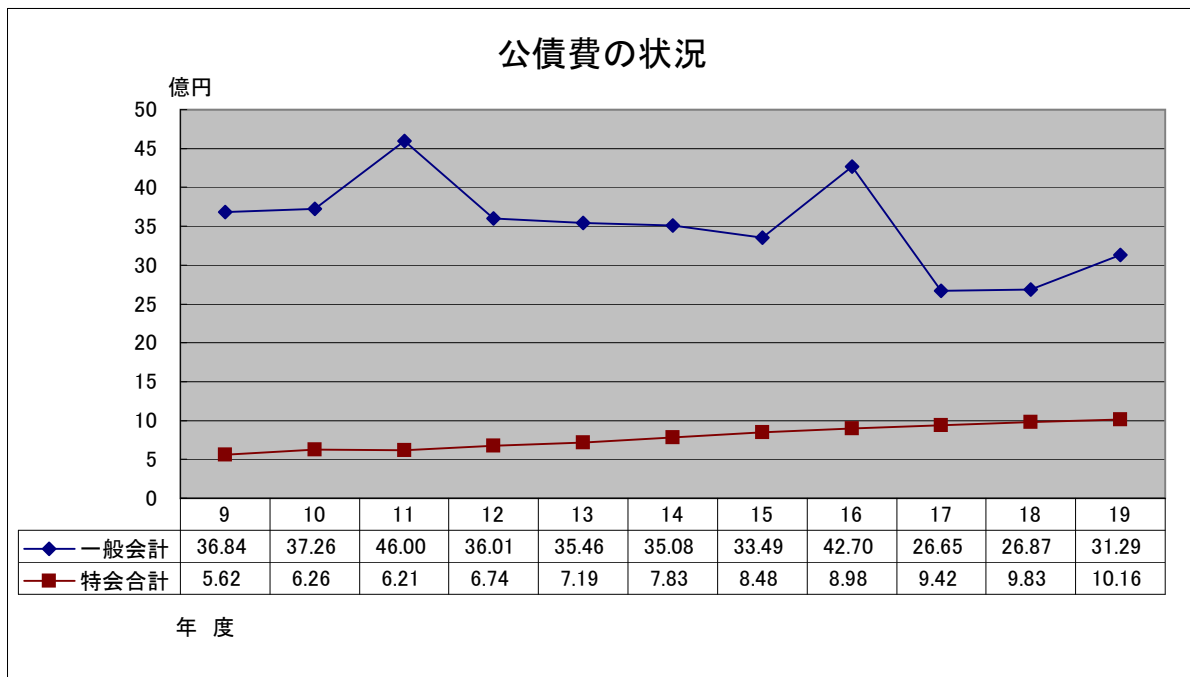
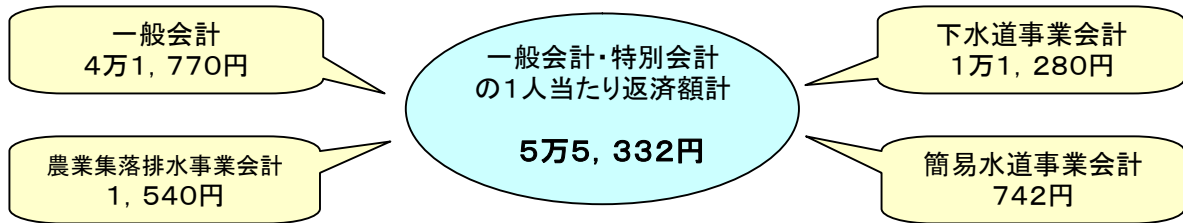
※ 地方の残高は地方債残高、企業債残高のうち普通会計負担分及び交付税特会借入金残高のうち地方負担分の合計額です。平成17年度までは決算、それ以降は予算(補正含む)の数値です。

9 公債費の状況

市債は、その年度では収入ですが、将来に渡り元金に利息をつけて返済していかなければなりません。この市債（借入金）の返済金を公債費といいます。

平成19年度の一般会計公債費は、31億2,971万円で、市民1人当たり換算した返済額は4万1,770円です。

一般会計、特別会計の1人当たりの返済額(水道事業会計を除く)



H16までは3市町村の決算額の合算。H18は決算見込、H19は予算計上額です。

※ 平成11年度と16年度は一時的に公債費が増大していますが、それぞれ繰上償還や減税補てん債の借替えを実施したことにより、大幅な利子の軽減となりました。



お問い合わせ先

大田原市財務部財政課財政係

TEL 0287-23-8797

E-mail zaisei@city.ohtawara.tochigi.jp